

感染状況・医療提供体制の分析(10月6日公表)

【岡山県専門家有志】 詳細
(東京都統括コメント参照) →



区分	モニタリング項目 ①、②は公表の前週(月～日)の合計 ③～⑤は公表の週の水曜日時点	前回の数値 (9月29日公表)	現在の数値 (10月6日公表)	前回との比較	分析コメント	
感染状況	① 定点当たり患者報告数 (注:報告者数は、県内84定点医療機関において、1週間に診断した患者数。定点当たり数は、1医療機関当たりの、1週間での平均患者数。)	報告数	973人	681人	↓	感染状況コメント レベル3. 感染縮小の兆候があるが警戒が必要
		定点当たり数	11.58人	8.11人	↓	
		報告数に占める60歳以上の割合	19.7%	23.5%	↑	定点当たり患者報告数は 8.11人 と減少。但し、インフルエンザの患者数増加し(定点当5.50人)、インフルエンザ注意報が発令。 全国的にも岡山でも感染者数はピークアウトしているが、インフルエンザが急増。体調不良時は外出しないといった心がけや、状況に応じたマスクの適正使用が必要。新型コロナワクチン秋接種も開始され、重症化リスクのある方は、重症化を防ぐためにワクチン接種が推奨される。また、早めのインフルエンザワクチン接種も推奨される。
	岡山市保健所	8.50人	5.77人	↓		
	倉敷市保健所	16.25人	10.50人	↓		
	備前保健所	9.60人	5.80人	↓		
	備中保健所	11.25人	11.00人	→		
	② 保健所別定点当たり患者報告数 (注:定点医療機関は、地域により患者数や患者の年齢構成にばらつきがあり、地域別の単純比較は多少の問題があるが、同じ地域で時系列の変動を見て、流行の推移を見るには有用)	備北保健所	15.00人	9.83人	↓	
真庭保健所		7.00人	4.67人	↓		
美作保健所		13.60人	9.40人	↓		
医療提供体制	③ 入院患者数	242人	213人	↓	医療提供体制コメント レベル3. 体制逼迫状態は緩和の兆候があると思われる	
	④ 確保病床における入院割合	25.3%	23.8%	↓	入院数も依然多い。県全体としては医療提供体制は安定しているが、一部の医療機関では確保病床以外への入院も継続し、負荷がかかっている。	
	⑤ 重症者数	5人	4人	↓		